

<水球陣>東日本リーグ第1戦

H25.2.23 対明治大 @慶應大学日吉プール

東大 1 0 1 1 計3

明治大 2 4 4 5 計15

得点者：下東さん（2）、横山さん（1）

東日本リーグの緒戦。いつもとは違ったチームで臨む初めての試合であり、どのような戦い方ができるのかを試す貴重な機会である。相手は夏に学生リーグでコールド負けを喫している強豪であり、今回のリーグでも上位に入ることが予想される強さを持つが、もちろん勝ちに行くつもりで試合に臨む。また、この試合に限りブラジルからの留学生、カイナンさんがチームに加わる。

第1ピリオド

開始早々カウンターを食らいマークミスも絡み失点。横山さんの両退の後、攻め急ぎ浮き足立つ中、その守りで退水を取られ、そのまま失点。出だしから悪い流れとなる。しかしその後の攻撃で横山さんが退水を取り、相手の高校生バックを早くも2退させる。その退水でルーズボールを横山さんが押し込み得点。その後はお互いセットでの攻撃で攻めきれず無得点の状態が続く。カウンターや退水などチャンスはお互いにあったが、ともにものにすることができず、2-1でこのピリオド終了。

第2ピリオド

マイボールからスタートするも、中とのタイミングが合わずなかなか得点できない。相手のカウンターは何とか守り、その後何とか退水を取るもパスミスで相手ボール、カウンターでマークの甘さから失点。さらにカウンターによる失点を重ね、攻撃がうまくいかないまま、今度はいらぬ退水を取られ失点。一気に3点もぎ取られる。相手のセットでの攻撃は守り終盤で再び退水を取るが、これも決めきれず、三宅さんが一人で入り込み得点を狙うがディフェンスに阻まれ、なかなか得点ができない。終了近くに取られた退水は守るもその後のカウンターでマークミスから失点。このピリオド東大無得点に対し4失点。完全に流れを失う。

第3ピリオド

明治ボールからスタート。カイナンさんが中に入る。最初はお互いセットで守るが、明治に退水を取られ、その流れで失点。すぐにカイナンさんが退水を取り返すも決めきれず、

逆にカウンターで失点。この後お互いに攻めきれない状態が続き、得点板が動かない。しかし堀江さんのボールカットからのカウンターで、相手が横山さんに下がり、その隙をついた下東さんがミドルを決め東大久々の得点。いい流れが来たかと思いきや、こちらもボールカットからのカウンターを受け失点。さらに一瞬の隙を突く相手のミドルシュートでの失点を重ねる。東大のシュートはなかなかゴールネットを揺らすことができず、そのままピリオド終了。

第4ピリオド

マイボールからスタートするも得点できない。逆に相手のセットからオーバー間際に決められる。今までセットは守れていただけに痛い失点となる。しかしその後すぐに下東さんのミドルシュートが炸裂し東大久々の得点。その後再びいい流れが来るもすぐに相手のカウンターで打ち消される。ド抜けのカウンターを重ねられ、こちらの攻撃は歯車のあわない状態が続く。ニュートラルをはさみカイナンさんのカット、横山さんの退水と、チャンスができるが物にできない。ここでも逆に一人多い状態を作られての失点となる。終盤のペナルティーによる失点もあり、このピリオド5失点。この後も退水や一人フリーとなるチャンスはあるも、得点に結びつかずに終わる。相手の攻撃は辛うじて防ぎこのピリオド終了。最終スコアは15-3。

結果は大敗であり、カウンターディフェンスなどに多くの反省点はあったものの、1ピリオド目では競ることができ局所的に良いプレーが見られるなど、今後リーグ戦を戦う中で活かすことができる点もあった。1部残留を決めるためには残り2試合で勝つことが必要十分条件である。週末の2試合に向け、反省点、良かった点ともに活かしつつ練習に励みたい。

最後になりましたが、応援に来てくださった轟さん、田丸さん、只野さん、試合に出てくださった三宅さん、堀江さん、飯塚さん、下東さん、横山さん、有吉さん、カイナンさん、監督をしてくださった井出さん、本当にありがとうございました。

(文責 疋田弘之)